

社団法人環境科学会 2005 年会
一般講演・シンポジウム・ポスターセッション
プログラム

社団法人 環境科学会

社団法人環境科学会 2005 年会

日 時：2005 年 9 月 8 日（木）～9 月 9 日（金）

会 場：名古屋大学 IB 電子情報館中棟

住 所：〒464-8601 名古屋市千種区不老町

交 通：名古屋市営地下鉄 名城線名古屋大学駅下車，3 番出口すぐ前

(<http://www.nagoya-u.ac.jp/sogo/yellopage.html#higashiyama>)

参加費：会員 6,000 円 準会員 3,000 円 非会員 9,000 円 非会員学生 5,000 円（講演要旨集代を含む）

懇親会：9 月 8 日（木）18：15～20：00

場 所：名古屋大学 IB 電子情報館 IB カフェ

参加費：5,000 円（予定）

お問い合わせ先：

2005 年会実行委員会 田畑 智博

名古屋大学大学院環境学研究科

〒464-8603 名古屋市千種区不老町

Email tabata@urban.env.nagoya-u.ac.jp（問い合わせは電子メールでお願いいたします）

環境科学会事務局 〒305-0047 茨城県つくば市千現2-1-6

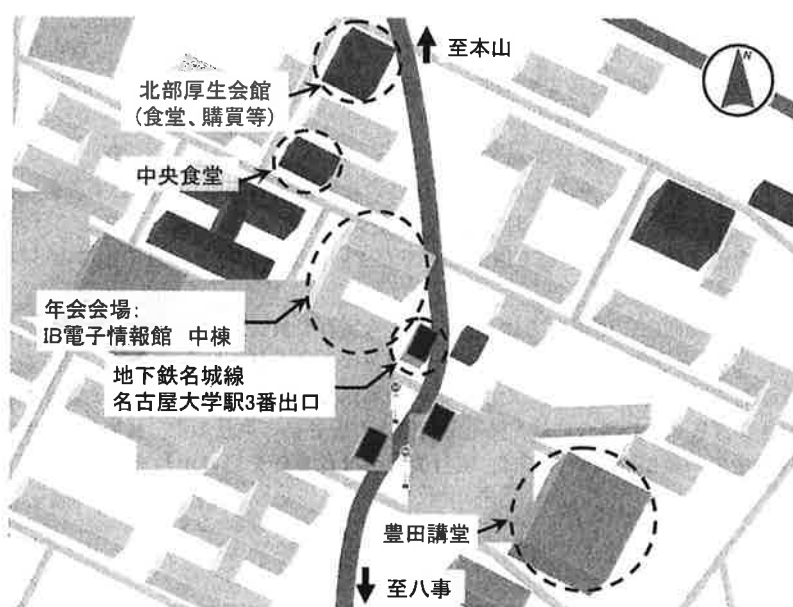
つくば研究支援センター C-A-7

TEL & FAX：029-858-6120

E-mail: jdz07103@nifty.ne.jp

（お問い合わせはなるべく電子メールでお願いいたします）

名古屋大学 キャンパス案内図



発表者の方々へ

1. 参加登録：

一般講演，シンポジウムならびにポスターのいずれの発表に関しても，発表者は必ず参加登録をしてください。

2. 発表時間：

一般講演：15分（発表10分，質疑応答及び入れ替え5分）

シンポジウム：主催者の方針によって異なりますので，主催者にお問い合わせください。

ポスター：掲示可能期間：9月8日（木）8：30～9月9日（金）15：00

セッション： 9月8日（木）12：00～13：00および9月9日（金）11：30～13：00

（ポスターセッションの時間には，発表者は可能な限りポスター会場に立って下さい。）

3. 発表方法：

一般講演：

- ・PC プロジェクタとパソコン（Windows）を用意いたします。
- ・今回は原則としてOHPは用意いたしません。
- ・持参のパソコンの接続は，時間の関係でできません。必ずファイルを媒体に入れてご持参下さい。
- ・媒体はフロッピー，CD-R，USBメモリのいずれかとします。CD-RW，MOは対応できませんのでご注意ください。
- ・ソフトはPowerPointのみとします。
- ・PowerPointのファイル名には，必ず発表者の氏名を含めてください。
- ・各セッション開始の遅くとも15分前までに会場係に媒体をお渡しください。
- ・パソコンへのデータインストールは会場係がお手伝いしますが，発表時のパソコンの操作は各自で行っていただきます。

シンポジウム：

- ・PC プロジェクタとパソコン（Windows）を用意いたします。
- ・持参のパソコンの接続については，オーガナイザーにご相談下さい。
- ・媒体，ソフトについては，一般講演と同様です。
- ・その他の機器が使われる場合は，オーガナイザーにお問い合わせください。

ポスター：

- ・9月8日（木）の11：30までに所定の場所に掲示して下さい。掲示は8：30から行うことができます。
- ・掲示に必要な画紙等は事務局で用意いたします。
- ・パネルのサイズは横115cm×縦180cm程度です。
- ・パソコンのデモや配布物用に，机などの掲示板以外の設備が必要な場合は，必ず事前に実行委員会あてにメールでお問い合わせください。なお，ご希望に沿えない場合もありますので，ご了承下さい。
- ・9月9日（金）の15：00までに各自で撤去して下さい。撤去作業は9日の13：15以降にお願いいたします。
- ・掲示や撤去が規定の時間内に困難な方は，あらかじめ実行委員会にお知らせいただければ，作業の代行をいたします。掲示の代行の場合に，ポスターが複数枚に分かれている場合は，掲示のレイアウトを図示した略図を添付して下さい。撤去したポスターの郵送もいたしますが，封筒と切手は各自でご用意下さい。版の大きなポスターの場合には，郵送用の筒などを各自ご用意の上，会場へご持参下さい。また撤去作業と郵送途中での破損等については，実行委員会では責任を負いかねますので，ご了解をお願いいたします。

社団法人環境科学会 2005 年会 プログラム構成

	A 会場 (IB011)	B 会場 (IB013)	C 会場 (IB014)	D 会場 (IB015)	ポスター会場 (プレゼンテーションス ペース)
9 月 8 日 (木)	環境リスク 奨励賞 受賞記念講演 (蒲生昌志), 論文賞 受賞記念講演 (伏見暁洋 注1) (9:30-10:20) 一般講演 (10:20-12:05)	マテリアルフロー・ LCA 一般講演 (9:30-12:00)	市民・地球環境・ 国際協力 一般講演 (9:30-11:30)	シンポジウム 1 名古屋大学環境学 研究科・持続性学 プロジェクト (9:30-12:00)	ポスター発表者は 1日目の11時30分 までにポスターを 掲示してください。
	ポスターセッション (12:00-13:00)				
	環境動態 論文賞 受賞記念講演 (小川祐美 注2) (13:00-13:20) 一般講演 (13:20-15:35)	環境評価・計画 一般講演 (13:00-16:00)	シンポジウム 2 企業の技術・経営革 新に資する環境政策 と環境会計のあり方 に関する研究 (13:00-16:00)	シンポジウム 3 新規環境・技術 リスクへの社会的 ガバナンス (13:00-16:00)	
	総会・表彰式 (大講義室) (16:15-17:00)				
	学会賞受賞記念講演 (浅野直人) (大講義室) (17:00-17:50)				
	懇親会 (IB カフェ) (18:15-20:00)				
9 月 9 日 (金)	資源管理 一般講演 (9:00-10:30)	環境化学・環境技術 一般講演 (9:00-10:45)	シンポジウム 4 持続可能型社会の ためのビジネスモデ ルとライフスタイル (9:00-11:00) 奨励賞 受賞記念講演 (松本 亨) (11:00-11:30)	シンポジウム 5 沿岸環境の 保全と再生 学術賞 受賞記念 講演 (岡田光正) (9:00-9:50) 関連講演 (9:50-10:50)	
	ポスターセッション (11:30-13:00)				
	環境理念・政策 一般講演 (13:00-15:15)	シンポジウム 6 環境科学と大学の 環境教育の体系化 2 - 歴史・現状・未来 - (13:00-17:00)	シンポジウム 7 ポスト環境 COE を 考える (13:00-17:00)	廃棄物・リサイクル 平成 16 年度学会賞 受賞記念講演 (高月 紘) (13:00-13:45) 一般講演 (13:45-16:00)	ポスター発表者は 2日目の15時まで にポスターを撤去し て下さい

注1：共著者 伏見暁洋，梶原秀夫，吉田喜久雄，中西準子

注2：共著者 小川祐美，中杉修身，西川雅高，井伊博行，平田健正

一 般 講 演

(座長については交渉中ですので、変更する場合があります。)

第1日目(9月8日)午前

A会場(1B 011) 環境リスク(9:30~12:05)

座長 蒲生昌志((独)産総研・化学物質リスク管理セ), 伏見暁洋((独)国環研)

1A-01 9:30 [奨励賞受賞記念講演]

9:30~10:00

司会者 亀屋隆志(横浜国大)

化学物質の健康リスク定量評価手法に関する研究

○蒲生昌志((独)産総研・化学物質リスク管理セ)

1A-02 10:00 [論文賞受賞記念講演]

10:00~10:20

司会者 亀屋隆志(横浜国大)

大気拡散モデルを用いた濃度予測及びPRTRデータの検証ーベンゼンを例にー

○伏見暁洋((独)国環研), 梶原秀夫((独)産総研), 吉田喜久雄((独)産総研), 中西準子((独)産総研)

1A-03 10:20 重金属汚染サイトへの健康リスク評価モデルの適応とその評価

○保高徹生(横浜国大・院・環情報学府・国際航業(株)), 松田裕之(横浜国大・院・環情報研究科), 中島 誠(国際航業(株)), 武 暁峰(国際航業(株)・清華大・水利水電工程系)

1A-04 10:35 防虫・消臭剤の室内使用の有無を考慮したp-ジクロロベンゼンの室内濃度分布の推定

○小野恭子, 蒲生昌志((独)産総研・化学物質リスク管理セ)

1A-05 10:50 有害大気汚染物質の暴露評価における時空間単位の影響

○石上 愛, 吉田喜久雄((独)産総研)

1A-06 11:05 淀川流域圏におけるPRTR法第一種指定化学物質のスクリーニングレベルリスク評価

○川島元樹, 戸部達也, 達脇浩平, 加賀昭和, 近藤 明, 井上義雄(大阪大・院・工学研究科), 松本大輔(富士通)

1A-07 11:20 ベンゼンの健康リスクに関するメンタルモデルの開発

○窪田ひろみ, 小杉素子(電中研・社会経済研), 横山隆壽(電中研・環境科学研), 土屋智子(電中研・社会経済研)

1A-08 11:35 廃棄物処理施設におけるリスクコミュニケーション手法に関する検討

永田勝也, 納富 信, 小野田弘士, 永井祐二, 村岡元司, 田中 圭, 石崎尚武, 〇切川卓也, 生原嘉尚(早大)

1A-09 11:50 PRTRデータと大気中有害化学物質モニタリングデータの相関分析

○福山 明((有)エリントシステム), 片谷教孝(山梨大)

B会場(1B 013) マテリアルフロー・LCA(9:30~12:00)

座長 中條 寛((株)三菱総研), 迫田章義(東大・生研)

1B-01 9:30 マテリアルバランス表による資源循環構造の予測分析

○田畑智博(名古屋大・院・工学), 井村秀文(名古屋大・院・環境学)

1B-02 9:45 産業連関表を基にした物質フロー解析の開発

○弘田啓子, 立花潤三, 姥浦道生, 後藤尚弘, 藤江幸一(豊橋技科大・工・エコロジー工学)

1B-03 10:00 ライフサイクルコスト及び環境負荷による一般廃棄物処理システムにおける生ゴミ処理方法の検討

○森部総一, 佐野 充, 加藤博和(名古屋大・院・環境学)

1B-04 10:15 LCAと物質フロー会計を用いたエコタウン事業の評価

○鶴田 直, 松本 亨, 柴田 学(北九州市立大・院・国際環境工学)

- 1B-05 10:30 川崎エコタウンでの産業共生「川崎モデル」による環境改善効果の評価に関する研究
○大西 悟, 藤田 壮 (東洋大・工・環境デザイン)
- 1B-06 10:45 物流センサによるマテリアルフローの時系列分析
○柴田和則, 島崎洋一 (山梨大)
- 1B-07 11:00 ホタテ貝・コンブ類養殖業の生産段階における LCI
○渡邊一仁 (北大・院・水), 田原聖隆 ((独)産総研), 大西直樹 (丸水札幌中央水産(株)), 藤森康澄, 清水 晋, 三浦汀介 (北大・院・水)
- 1B-08 11:15 環境効用ポテンシャル評価手法の開発とその応用 (製品の効用に関する検討)
永田勝也, 小野田弘士, ○小野田哲也, 高松優介 (早大・理工), 愛澤政仁 (EMSI)
- 1B-09 11:30 エレメントフロー解析による化学物質管理手法の検討～鉛を例として～
○中條 寛, 鶴飼隆広 ((株)三菱総研), 迫田章義 (東大・生研), 高梨啓和 (鹿児島大・工), 竹下宗一 ((株)ダイヤリサーチマーテック), 山下 勝, 河中裕文 ((独)新エネルギー・産業技術総合開発機構)
- 1B-10 11:45 エレメントフロー解析による化学物質管理手法の検討～塩素を例として～
○竹下宗一, 真木隆夫 ((株)ダイヤリサーチマーテック), 迫田章義 (東大・生研), 高梨啓和 (鹿児島大・工), 中條 寛 ((株)三菱総研), 山下 勝, 河中裕文 ((独)新エネルギー・産業技術総合開発機構)

C 会場 (IB 014) 市民・地球環境・国際協力 (9:30～11:30)

座長 後藤真太郎 (立正大・地球環境科学・環境システム), 松村寛一郎 (関西学院大)

- 1C-01 9:30 家庭エネルギー消費実態調査一世帯属性別の比較
○友清俊介 (北九州市立大・院・国際環境工), 中村昌広 (北九州市立大・院・国際環境工, 環境テクノス (株)), 乙間末廣 (北九州市立大・院・国際環境工)
- 1C-02 9:45 家庭からの CO₂発生と年齢階層の関係
○中村昌広 (北九州市立大・院・国際環境工, 環境テクノス (株)), 乙間末廣 (北九州市立大・院・国際環境工)
- 1C-03 10:00 温暖化が民生部門家庭用エネルギー消費量へ及ぼす影響の評価方法について
○平野勇二郎 (埼玉大・理工), 外岡 豊 (埼玉大・経済), 藤野 毅 (埼玉大・理工)
- 1C-04 10:15 市民の理解浸透と行動化を意図した環境コミュニケーション戦略
○黛 陽子 (早大・映像コミュニケーション研), 浅岡香野子 (早大・院・国際情報通信研), 長谷川雅也 (早大・映像コミュニケーション研), 長 幾朗 (早大・院・国際情報通信研セ)
- 1C-05 10:30 京都議定書を「科学」の目で見ると
○山下正和 (同志社大・工)
- 1C-06 10:45 行政と市民の協働による油流出事故対策に関する研究
○後藤真太郎 (立正大・地球環境科学・環境システム), 矢崎真澄 (社会技術振興機構・社会システム/社会技術論), 沢野伸浩 (星稜女子短大), 佐尾邦久, 佐尾和子 ((株)海洋工学研), 濱田誠一 (北海道立地質研・海洋地学部)
- 1C-07 11:00 製品共同利用の消費者受容性における問題点とその解決策についてー北欧のエコビレッジにおけるカーシェアリングからー
○松尾雄介 ((財)地球環境戦略研究機関 関西研究セ)
- 1C-08 11:15 東アジアの海洋環境協力の現状と課題: 東アジア海域環境管理パートナーシップの事例を中心に
○大久保彩子 (海洋政策研究財団)

第1日目(9月8日)午後

A会場(1B 011) 環境動態 (13:00~15:35)

座長 大浦典子((独)農環研), 都筑良明(島根大・汽水域研究セ)

1A-10 13:00 [論文賞受賞記念講演]

13:00~13:20

司会者 亀屋隆志(横浜国大)

GISを用いた茶栽培流域における水質評価法の検討

○小川祐美(元筑波大), 中杉修身(上智大), 西川雅高((独)国環研), 井伊博行(和歌山大), 平田健正(和歌山大)

1A-11 13:20 山風が都市ヒートアイランドに及ぼす影響に関する研究
~長野市における観測事例の報告~

○一ノ瀬俊明((独)国環研), 浜田 崇(長野県環境保全研究所), 田中博春(元(独)国環研)

1A-12 13:35 富山湾の水質汚濁と地域の温暖化

○白山 肇(富山国際大)

1A-13 13:50 中部山岳地域上流域における陸水pHの長期的低下と酸性雨の関係-過去30年間のpHの低下

○栗田秀實(長野女子短大), 植田洋匡(酸性雨研究セ)

1A-14 14:05 景観に配慮した都市河川水質浄化システム

○平尾壽啓, 玉井元治(近畿大・総合理工学研究科, 東大阪モノづくり専攻)

1A-15 14:20 佐鳴湖水質データに基づく汚染原因の分析

○阿部茂晴, 前田恭伸(静岡大・工・システム)

1A-16 14:35 福井県嶺北の未攪乱閉鎖性山岳池の水と土壌環境に関する調査

○岩本多實, 木村満喜夫, 安藤憲治(福井工大・工・原子力)

1A-17 14:50 アオサのジメチルスルフォニオプロピオン酸の蓄積に及ぼすイオウの効果

○深谷 実(名城大・理工・環境創造), 浅野友吾(名城大・総合学術), 日比野隆, 田中義人(名城大・理工・化学), Nuchanat WUTIPRADITKUL, 高倍鉄子(名古屋大・院・生命農学・生物圏資源), 鈴木輝明(愛知水試), 高倍昭洋(名城大・総研)

1A-18 15:05 森林生態系における窒素の内部循環特性

○大浦典子, 新藤純子((独)農環研), 楊 宗興, 藤田俊忠(東京農工大), 苗村晶彦(平岡環境科学研究所)

1A-19 15:20 シバ草地における非海塩性硫酸イオンおよび二酸化硫黄の大気沈着-湿性沈着量および乾性沈着量の比較-

○林健太郎, 駒田充生, 宮田 明((独)農環研)

B会場(1B 013) 環境評価・計画 (13:00~16:00)

座長 加藤博和(名古屋大・院・環境学), 高梨啓和(鹿児島大)

1B-11 13:00 アジア都市における環境管理能力評価フレームワークの検討

○川本清美, 井村秀文, 白川博章(名古屋大・院・環境学研究科)

1B-12 13:15 観光飲食産業への地産地消導入による環境負荷低減

○中村 龍, 姥浦道生, 後藤尚弘(豊橋技科大・工・エコロジー工学)

1B-13 13:30 東アジアの食料生産に伴う窒素負荷量の経年変化

-窒素収支モデルに基づく1961年~2030年の推定-

○新藤純子, 岡本勝男((独)農環研), 川島博之(東大)

1B-14 13:45 Study on ecological footprint with an application of interregional input-output analysis to China

○周 新, 井村秀文(名古屋大・院・環境学)

- 1B-15 14:00 The main issues of sustainability indicators : different paradigms and the possibilities for improvement
○Bespyatko Lyudmyla, Shirakawa Hiroaki, Imura Hidefumi
(Nagoya University Graduate School, Department of Environmental Studies)
- 1B-16 14:15 余命指標 QALY の居住地環境評価への適用
○加知範康, 加藤博和, 林 良嗣 (名古屋大・院・環境学)
- 1B-17 14:30 豊川用水流域の農業用水の消費構造の解析
○熱田洋一, 大門裕之, 藤江幸一 (豊橋技科大・工・エコロジー工学)
- 1B-18 14:45 環境改善行動の実行容易度調査について
永田勝也, 納富 信, 小野田弘士, ○森部昌一, 四方英輔 (早大)
- 1B-19 15:00 コンジョイント分析を用いた健康リスクの重み付け手法の開発
○柘植隆宏 (高経大・地域政策), 岸本充生 ((独)産総研・CRM), 竹内憲司 (神戸大・経済)
- 1B-20 15:15 都市における環境コミュニケーションの定量評価手法に関する検討
永田勝也, 納富 信, 小野田弘士, ○河合浩利, 梶原 順, 金子 正 (早大・理工・機械工学)
- 1B-21 15:30 リモートセンシングによる釧路湿原の火災リスク評価の検討
○鈴木健吾, 栗津 勤, 沖 一雄, 大政謙次 (東大・農・生物環境工学)
- 1B-22 15:45 環境アセスメントのコミュニケーション論的な考察
○原科幸彦 (東工大・院・総合理工学)

第2日目(9月9日)午前

A会場(IB 011)資源管理(9:00~10:30)

座長 一ノ瀬俊明((独)国環研)

- 2A-01 9:00 途上国の生活排水処理計画策定を目的とする中小都市内河川流域を対象とする汚濁負荷量解析と生活排水の環境家計簿
○都筑良明(島根大・汽水域研究セ)
- 2A-02 9:15 国際交易モデルと土地利用変化
○松村寛一郎(関西学院大), Guoxin TAN (Culture and Education Information Center Huazhong Normal University), 柴崎亮介(東大・空間情報科学研究セ), 柳島宏治(国連食糧農業機関)
- 2A-03 9:30 中国における工業用水の経済的特性に関する研究
○白川博章(名古屋大), 金子慎治(広島大)
- 2A-04 9:45 中国鉄鋼企業の環境技術改善の計測
○藤井秀道, 金子慎治(広島大), 馬奈木俊介(横浜国大), 勝原 健(摂南大)
- 2A-05 10:00 中国・黄河流域での水配分に関する応用一般均衡分析
奥田隆明, ○幡野貴之(名古屋大・院・環境学)
- 2A-06 10:15 汾河流域における水資源管理の調査報告
○石 峰, 大西暁生, 井村秀文(名古屋大・院・環境学)

B会場(IB 013)環境化学・環境技術(9:00~10:45)

座長 片山新太(名古屋大・工・エコトピア科学研究所)

- 2B-01 9:00 Gaussian03により得られた光吸収ダイオキシンの解離特性
○山内俊彦(原研), 小林清二(高度情報科学技術), 伊藤伸一, 亀井康孝(京都微研), 山崎和彦(原研), 菅野善則(山梨大・工)
- 2B-02 9:15 太陽光と光触媒シートによる汚染土壌浄化
○砂田香矢乃, 桐谷久恵, 磯和俊男, 横山邦雄(東大・先端研), 橋本和仁(東大・院・工・応用化学)

- 2B-03 9:30 超臨界二酸化炭素を用いた活性汚泥からの菌体キノンの抽出
○松永隆征, Ivan, 熱田洋一 (豊橋技科大・工・エコロジー工学), 大門裕之 (豊橋技科大・未来環境エコデザインセンター), 藤江幸一 (豊橋技科大・工・エコロジー工学)
- 2B-04 9:45 植物の GST に着目した大気汚染モニタリング手法の検討
○浜 理貴, 長谷川聖, 花木啓祐 (東大・院・工・都市工)
- 2B-05 10:00 分布型 Multimedia Model を用いた流域圏における化学物質の動態解析
○戸部達也, 加賀昭和, 近藤 明, 井上義雄, 川島元樹 (大阪大・院・工学研究科), 松本大輔 (富士通), 鶴川正寛 (兵庫県立健康環境科学セ)
- 2B-06 10:15 農薬等半揮発性有機化学物質の雲粒や雨滴等の大気中凝結水粒子表面収着の評価
○小原裕三, 西森基貴 ((独)農環研), 魏 永芬 (岐阜大・流域圏セ), 石原 悟, 大津和久, 横山淳史 ((独)農環研)
- 2B-07 10:30 マルチメディアモデルを用いた農薬・POPs等の全球動態解析
○西森基貴 ((独)農環研), 魏 永芬 (岐阜大・流域圏セ), 小原裕三 ((独)農環研)

第2日目(9月9日)午後

A会場(IB 011)環境理念・政策(13:00~15:15)

- 座長 姥浦道生 (豊橋技科大・工・エコロジー工学), 石井暁 (東大・院・工学系研究科, 国際都市再生研究セ)
- 2A-07 13:00 水素エネルギーの社会的受容性に影響を及ぼす要因
○松本安生 (神奈川大), 高梨啓和, 上村芳三, 甲斐敬美 (鹿児島大)
- 2A-08 13:15 帰属価格に基づく炭素税に関する環境・経済分析: 上流部門に対する課税
○松本健一 (関西学院大・院・総合政策)
- 2A-09 13:30 選択型実験によるアサザ再生の経済的評価
○三谷羊平 (日本学術振興会), 栗山浩一 (早大)
- 2A-10 13:45 市町村における環境行政の現状と課題—山梨県の市町村を事例として—
○柳沢章裕 (東京エレクトロンAT(株)), 片谷教孝 (山梨大)
- 2A-11 14:00 都市大気質管理への生態系アプローチの適用可能性: マレーシアの事例
○石井 暁 (東大・院・工学系研究科, 国際都市再生研究セ)
- 2A-12 14:15 地球環境問題に関する日本環境外交のプレゼンス—1970~80年代—
○江澤 誠
- 2A-13 14:30 予防原則と科学的知見—欧州第一審裁判所の2つの判決を契機に
○赤渕芳宏 (学習院大・院・法)
- 2A-14 14:45 持続可能な地域社会(続報)
○水谷潤太郎 (日本上下水道設計(株))
- 2A-15 15:00 Challenges for Sustainable Water Resource Utilization in North China: A Perspective from the Case of Taiyuan City in the Fen River Basin
○韓 驥, 井村秀文 (名古屋大・院・環境学)

D会場(IB 015)廃棄物・リサイクル(13:00~16:00)

- 座長 下ヶ橋雅樹 (東大・生研), 藤田 壮 (東洋大・地域産業共生研究セ)
- 2D-01 13:00 [平成16年度学会賞受賞記念講演] 13:00~13:45
司会者 亀屋隆志 (横浜国大)
廃棄物の処理・管理に関する研究並びに実践的環境教育における貢献
○高月 紘 (石川県立大・生物資源工学研究所)
- 2D-02 13:45 地域産業共生研究センターにおける木材循環研究
○村野昭人, 藤田 壮 (東洋大・地域産業共生研究セ)

- 2D-03 14:00 Research on Water and Biomass Circulation Systems in Tokyo Bay Region
 ~ The Evaluation of CO₂ Emission Reduction Effects by Implementing Methane
 Fermentation Systems in Keihin Area — A Case Study ~
 ○ Looi-Fang WONG (東洋大・工・環境デザイン), 藤田 壮 (東洋大・工・環境建設
 学科)
- 2D-04 14:15 持続可能性と南極のゴミ処理動向
 ○ 小西達也, 松村寛一郎 (関西学院大)
- 2D-05 14:30 LCA Perspectives in Minimization of Energy Requirement of Japan Food System
 towards Sustainable Society
 ○ Andriana Yuni Sulistyowati, Naohiro Goto, Junzo Tachibana, Michio Ubaura, Koichi
 Fujie (Ecological Engineering Department, Toyohashi University of Technology)
- 2D-06 14:45 廃衛生陶器リサイクルのための排出量及び安全性に関する検討
 ○ 櫻井利彦 (福岡県リサイクル総合研/北九州市大), 新谷亮介, 松本 亨 (北九州市
 大), 犬丸かおり (福岡県リサイクル総合研), 志賀正敬, 長谷川義之 (東陶機器)
- 2D-07 15:00 水熱反応を用いたポリ乳酸のモノマー化における添加剤の影響
 ○ 新保達雄, 辻 秀人, 大門裕之, 藤江幸一 (豊橋技科大・工・エコロジー工学),
 佐伯 孝 ((独) 国環研)
- 2D-08 15:15 過熱水蒸気を用いた木材からのフェノール類生産プロセス
 ○ 下ヶ橋雅樹, 大須賀隆太, 野村剛志, 藤井隆夫, 迫田章義 (東大・生研)
- 2D-09 15:30 溶融飛灰からの金属回収に関する研究
 ○ 岡田敬志, 東條安匡, 松藤敏彦 (北大・工・廃棄物処分工学)
- 2D-10 15:45 乾式メタン発酵の基質依存性の検討
 ○ 松本直樹, 奥川美里, 佐瀧輝洋, 高梨啓和, 大山謙二, 中島常憲, 大木 章 (鹿児島
 大・工)

企画シンポジウム

(現在調整中のものを含みます。)

シンポジウム 1 9月8日(木) D会場 9:30～12:00

名古屋大学環境学研究科・持続性学プロジェクト

オーガナイザー 林 良嗣 (名大・院・環境学)

1部 持続性学プロジェクトの取り組み

- S1-01 はじめに：持続性学とは何か？
○林 良嗣 (名大・院・環境学)
- S1-02 持続性学のストラクチャー
○原田昌幸 (名大・院・環境学)
- S1-03 環境人口論プロジェクト
○河合崇欣 (名大・院・環境学)
- S1-04 水環境プロジェクト
○清水裕之 (名大・院・環境学)
- S1-05 エネルギープロジェクト
○佐野 充 (名大・院・環境学)
- S1-06 交通プロジェクト
○加藤博和 (名大・院・環境学)
- S1-07 地域でのケーススタディ
○高野雅夫 (名大・院・環境学)
- S1-08 万博サテライトシンポジウムでの議論
○田淵六郎 (名大・院・環境学)

2部 総合討論

座 長：林 良嗣 (名大・院・環境学)

討 論：講演者，討論者及びフロアーからの問題提起と討論

シンポジウム 2 9月8日(木) C会場 13:00～16:00

企業の技術・経営革新に資する環境政策と環境会計のあり方に関する研究

オーガナイザー 松村寛一郎 (関学大)

- S2-01 環境会計による環境イノベーション促進の可能性
○國部克彦 (神戸大)
- S2-02 環境イノベーションの事例分析
○松村寛一郎 (関学大)
- S2-03 環境イノベーションの類型化
○玄場公規 (芝浦工大)
- S2-04 環境政策と環境経営革新
○天野明弘 (IGES 関西研究セ，兵庫県立大)

シンポジウム 3 9月8日(木) D会場 13:00～16:00

新規環境・技術リスクへの社会的ガバナンス

オーガナイザー 池田三郎 ((独) 防災科学技術研)

1部 環境・技術リスクの社会的ガバナンスの評価の枠組み

座長: 兜 真徳 ((独) 国環研)

討論者: 小林傳司 (大阪大学コミュニケーションデザインセンター)

- S3-01 科学的知見の不確実性とリスクガバナンスの構造: 国際比較
○池田三郎 ((独) 防災科学技術研)
- S3-02 外来生物侵入リスク問題とそのガバナンスの要件
○水野敏明 (世界自然保護基金ジャパン)

2部 事例: 食品安全リスクと電磁波リスク問題の社会的なガバナンス

座長: 兜 真徳 ((独) 国環研)

討論者: 関沢 純 (徳島大・総合科学部)

緒方裕光 ((国) 保健医療科学院研究情報セ)

- S3-03 食品安全問題とリスクガバナンスの国際比較: 特徴と課題
○功刀由紀子 (愛知大・経営学部)
- S3-04 リスクガバナンスのための早期警戒プラットフォーム
ー食品安全リスクのクリアリングハウスの試行的構築ー
○前田恭伸 (静岡大・工学部)
- S3-05 電磁波リスクの社会的なガバナンスと予防原則
○青柳みどり ((独) 国環研)

3部 総合討論: 新規環境・技術リスクの社会的なガバナンスを巡って

座長: 池田三郎 ((独) 防災科学技術研)

討論: 講演者, 討論者及びフロアーからの問題提起と討論

シンポジウム 4 9月9日(金) C会場 9:00～11:30

持続可能型社会のためのビジネスモデルとライフスタイル

オーガナイザー 乙間末廣, 松本 亨 (北九州市大・国際環境工)

- S4-01 ライフスタイル変化に伴う家電製品の機能提供の類型
○今堀洋子 (追手門学院大)
- S4-02 リースと補修による家電製品でのライフサイクル管理ビジネスの可能性
○山本祐吾 (大阪大・院), 山崎裕貴 ((株) タクマ), 梶月久美子 ((株) 荏原製作所), 吉田 登 (和歌山大), 盛岡 通 (大阪大・院)
- S4-03 家庭用コジェネ機器等のリース事業の可能性に関する研究
○鈴木進一 (エックス都市研)・藤原正教・柘植明善 (西部ガス)・松本 亨 (北九州市大・国際環境工)
- S4-04 コンピュータのアウトソーシングにおける環境影響に関する考察
○佐藤明史, 池隅達也 ((株) 九州テクノリサーチ), 松本 亨 (北九州市大・国際環境工)
- S4-05 カーシェアリングによる環境パフォーマンスの分析方法の開発
○堀江雄太, 松尾雄介 ((財) 地球環境戦略研究機関 関西研究セ)

- S4-06 選択型コンジョイント分析を用いた飲料水に対する消費者の受容性評価
○中谷 隼, 志摩 学, 荒巻俊也, 花木啓祐 (東大・院・工学系研究科)

総合討論

- S4-07 [奨励賞受賞記念講演] 11:00 ~ 11:30

司会者 亀屋隆志 (横浜国大)

次世代社会システムの環境影響評価手法に関する研究
○松本 亨 (北九州市大・国際環境工)

シンポジウム 5 9月9日(金) D会場 9:00 ~ 10:50

沿岸環境の保全と再生

オーガナイザー 西嶋 渉 (広島大)

- S5-01 [学術賞受賞記念講演] 9:00 ~ 9:50

司会者 亀屋隆志 (横浜国大)

生態工学に基づく藻場・干潟保全に関する研究
○岡田光正 (広島大)

- S5-02 藻場造成の事例と課題
○平岡喜代典 (広島県環境保健協会)

- S5-03 干潟造成の事例と課題
○羽原浩史 (復建調査設計 (株))

シンポジウム 6 9月9日(金) B会場 13:00 ~ 17:00

環境科学と大学の環境教育の体系化2 —歴史・現状・未来—

オーガナイザー 内山弘美 (東京大)

1部 環境冠学部・大学院における環境への取り組み

- S6-01 教養部改組と環境冠学部・大学院の設置動向 (主旨説明)
○内山弘美 (東京大・空間情報科学研究セ)
- S6-02 名古屋大学大学院環境学研究科
(交渉中)
- S6-03 長崎大学環境科学部
(交渉中)
- 他, 1~2大学の環境冠学部・大学院

2部 総合討論

座長: 内山弘美 (東京大・空間情報科学研究セ)
山本真司 (河合塾)
コメンテーター: (交渉中)

ポスト環境 COE を考える

オーガナイザー 後藤尚弘(豊橋技科大・エコロジー工学系), 片谷教孝(山梨大)

- S7-01 「アジアモンスーン域流域総合水管理研究教育」山梨大学
S7-01-1 アジアモンスーン域流域水環境を担う新しい風となるために
○坂本 康(山梨大・院・医学工学総合研究部)
S7-01-2 長期モニタリングデータを用いた富士川河川水質のならびに汚濁負荷量の統計解析
○風間ふたば(山梨大・院・医学工学総合研究部)
- S7-02 「未来社会の生態恒常性工学」豊橋技術科学大学
S7-02-1 「未来社会の生態恒常性工学」の考え方と研究概要
○藤江幸一(豊橋技科大・エコロジー工学系)
S7-02-2 物質フローの解析に基づく物質・エネルギー循環システムの設計と評価
○大門裕之(豊橋技科大・未来環境エコデザインリサーチセンター), 後藤尚弘, 藤江幸一(豊橋技科大・エコロジー工学系)
- S7-03 「環日本海域の環境計測と長期・短期変動予測」金沢大学
S7-03-1 「環日本海域の環境計測と長期・短期変動予測」全体概要
○早川和一(金沢大・院・自然科学研究科)
S7-03-2 「環日本海域の環境計測と長期・短期変動予測」
○佐藤 努(金沢大・自然計測応用研究センター)
- S7-04 「都市空間の持続再生学の創出」東京大学
S7-04-1 都市空間の持続再生学の創出プロジェクトのアウトライン
○花木啓祐(東京大・院・工学系研究科)
S7-04-2 地下水の保全と有効利用による都市空間の持続再生—日本とアジアの比較研究—
○滝沢 智(東京大・院・工学系研究科)
- S7-05 「生物・生態環境リスクマネジメント」横浜国立大学
S7-05-1 「生物・生態環境リスクマネジメント」プログラムの概要
○益永茂樹(横浜国大・院・環境情報研究院)
S7-05-2 環境リスクマネジメントに向けた情報共有と情報発信システム
○佐土原聡(横浜国大・院・環境情報研究院)
- S7-06 「新エネルギー・物質代謝と生存科学の構築」東京農工大学
S7-06-1 新エネルギー・物質代謝と生存科学の構築に向けて
○堀尾正靱(東京農工大・院・共生科学技術研究部)
S7-06-2 飼料イネを用いた窒素循環システムの構築
○細見正明(東京農工大・院・共生科学技術研究部)
- S7-07 「沿岸環境科学研究拠点」愛媛大学
S7-07-1 全体概要と進捗状況
○田辺信介(愛媛大・沿岸環境科学研究センター)
S7-07-2 有害物質の環境動態と生態影響の解明
○田辺信介(愛媛大・沿岸環境科学研究センター)

パネルディスカッション「ポスト環境 COE を考える」

座長：藤江幸一(豊橋技科大・エコロジー工学系)

パネリスト：各大学発表者

ポスターセッション（一般）

掲示期間： 9月8日（木）11：30 ～ 9月9日（金）15：00

セッション： 9月8日（木）12：00 ～ 13：00

9月9日（金）11：30 ～ 13：00

- 1P-01 個別粒子分析法による大気汚染指標としてのマツ葉に付着した粒子状物質の化学的特徴
○岩崎みすず（神戸大・自然科学研究科），田結庄良昭（神戸大・発達科学部）
- 1P-02 逐次選択抽出を用いた土壌中のアンチモンの存在形態の研究
○高橋哲也，松尾基之（東大・院・総合文化）
- 1P-03 詳細土地被覆情報を利用した熱環境解析における土地利用別緑化シミュレーション
○大西暁生，吉川拓未，森杉雅史，井村秀文（名古屋大・院・環境学研究科）
- 1P-04 黄河流域の月単位における県市別水資源需給モデルの構築に向けた基礎的研究
○大西暁生，方 偉華，白川博章，井村秀文（名古屋大・院・環境学研究科）
- 1P-05 フタル酸ジ（2-エチルヘキシル）の大気排出量の再解析
○吉田喜久雄，手口直美，蒲生吉弘（（独）産総研）
- 1P-06 生産と流通を考慮した農・畜産物経由の化学物質摂取量推定法の検証
○手口直美，石上 愛，神子尚子，吉田喜久雄（（独）産総研）
- 1P-07 大気拡散モデル ADMER を用いた大気中鉛濃度分布の推計
○酒井めぐ美，小林憲弘，吉田喜久雄（（独）産総研）
- 1P-08 環境保護運動を考える
○高倉弘士（立命館大・産社），西野正雄（大阪府立富田林高），菰田綾佳（大阪府立藤井寺高），
林俊祐（大阪府立生野高），乾真由美（大阪薬科大・薬），宮本如奈（同志社大・文），白井一城（北
陸大・薬），畠山有理（長崎大・薬），畠山光弘（畠山獣医科）
- 1P-09 抗原感作マウス A/G 比に及ぼすダニ用殺虫剤成分の影響
○西野正雄（大阪府立富田林高），菰田綾佳（大阪府立藤井寺高），林 俊祐（大阪府立生野高），
乾真由美（大阪薬科大・薬），宮本如奈（同志社大・文），高倉弘士（立命館大・産社），白井一城
（北陸大・薬），畠山有理（長崎大・薬），畠山光弘（畠山獣医科）
- 1P-10 産業廃棄物処理場拡張計画を巡る住民運動に関する報告
○菰田綾佳（大阪府立藤井寺高），西野正雄（大阪府立富田林高），林 俊祐（大阪府立生野高），
乾真由美（大阪薬科大・薬），宮本如奈（同志社大・文），高倉弘士（立命館大・産社），白井一城
（北陸大・薬），畠山有理（長崎大・薬），畠山光弘（畠山獣医科）
- 1P-11 ポスター発表における改造壁掛け液晶反転コンピュータ使用に関する考察
○林 俊祐（大阪府立生野高），菰田綾佳（大阪府立藤井寺高），西野正雄（大阪府立富田林高），
乾真由美（大阪薬科大・薬），宮本如奈（同志社大・文），高倉弘士（立命館大・産社），白井一城
（北陸大・薬），畠山有理（長崎大・薬），畠山光弘（畠山獣医科）

- 1P-12 プラスチック製品のLCA評価方法の提案
○橋口順子, 鈴木嘉彦 (山梨大・院・医工)
- 1P-13 「21世紀に期待するエネルギー」アンケート調査Ⅲ
ーエネルギーの選択理由についてー
○岡田住子 (武蔵工業大, WEN), 赤井芳恵, 岩城智香子, 塩田哲子, 千歳敬子, 松村文代, 三石治子 (WEN)
- 1P-14 中国上海市の工業化進展に伴う土壌の重金属蓄積実態の評価
胡 雪峰 (上海大), ○王 効挙, 木 持謙 (埼玉県環境科学国際セ), 朱 南文 (上海交通大)
- 1P-15 構造方程式モデリングを用いた環境関心度調査
○柳沢和徹, 伊藤幸子, 大矢 勝 (横浜国大)
- 1P-16 環境アセスメントおよびリテラシーを目指した環境地理情報システムの開発
○鈴木 拓, 波戸利明, 林 村, 杉浦 大, 西浜章平, 吉塚和治 (北九州市大・国環工), 前川峰義 ((株) ネオジーアイエス)
- 1P-17 農薬・POPsなどの環境動態を予測する全球規模マルチメディアモデルの開発: 水田環境の導入と海水塩分の影響評価
○魏 永芬 (岐阜大・流域圏科学研究セ), 西森基貴, 小原裕三 ((独) 農環研)
- 1P-18 『PRTR データ活用環境リスク評価支援システム』を用いた環境解析
○磯部 慶, 清水綾子, 村上 治 ((社) 環境情報科学セ), 山崎邦彦 ((独) 国環研)
- 1P-19 高分解能衛星画像を利用した都市熱環境解析に関する研究
○上野賢仁 (崇城大・工・環境建設工学科)
- 1P-20 中国・済南市における高解像度水資源需要マップ作成の試み
○一ノ瀬俊明, 大坪国順, 王 勤学 ((独) 国環研), 張 祖陸 (山東師範大)
- 1P-21 Comparison of Publicly Available DEM Data Products for Water Resources Study in China
○ Weihua FANG(College of Resources Science & Technology, Beijing Normal University, Department of Urban Environment, Graduate School of Environmental Studies, Nagoya University), Hidefumi IMURA(Department of Urban Environment, Graduate School of Environmental Studies, Nagoya University)

名古屋大学大学院環境学研究科・環境3+2学会合同シンポジウム 2005 環境政策研究のフロンティア VI

「地域からの地球温暖化防止」

日時：2005年9月10日（土）13：00～17：30 シンポジウム 18：00～懇親会

場所：名古屋大学 IB 電子情報館（地下鉄名古屋大学駅下車2分）

シンポジウム参加費：無料

懇親会参加費：一般3,000円、学生・院生2,000円

主催：名古屋大学大学院環境学研究科、環境経済・政策学会、環境法政策学会、環境社会学会、環境科学会、大気環境学会

後援：損保ジャパン環境財団

※報告者・パネリストについては暫定です。

プログラム

— 地域からの地球温暖化防止 —

司会 井村秀文（名古屋大学）
主催者代表挨拶 黒田達朗（名古屋大学大学院環境学研究科長）

第1部 報告（13：00～15：00）

- 基調講演 安井 至（環境科学会会長・国際連合大学副学長）
「地域からの地球温暖化防止のためになすべきこと」
- 特別講演 竹本和彦（環境省大臣官房審議官）「世界、国と地域の連携」
- 趣旨説明 井村秀文（名古屋大学）
- 報告1 寺西俊一（環境経済政策学会・一橋大学）「地球温暖化防止と自治体環境政策」
- 報告2 寺田良一（環境社会学会・明治大学）「地球温暖化言説が地域の環境活動にもたらした影響」
- 報告3 柳下正治（環境法政策学会・大気環境学会・上智大学）
「自治体による温暖化対策の現状検証と新展開に向けての提案」

第2部 パネルディスカッション（15：20～17：30）

- コーディネーター 植田和弘（京都大学）
- パネリスト 田浦健朗（気候ネットワーク） 浅野智恵美（環境カウンセラー）
加藤博和（名古屋大学） 寺西俊一 寺田良一 柳下正治

第3部 懇親会（18：00～）

名古屋大学 IB 電子情報館 1F IB カフェ

申し込み・問合せ：

〒464-8601 名古屋市中千種区不老町名古屋大学井村研究室（担当：白川）
E-mail: frontier@urban.env.nagoya-u.ac.jp Tel&Fax : 052-789-3840
ホームページ <http://www.001.upp.so-net.ne.jp/env3/>

シンポジウム「地域からの地球温暖化防止」実行委員会事務局 井村研究室宛
Fax: 052-789-3840

参加申込書

参加ご希望の方は上記事務局宛まで FAX してください。E-mail の場合は、同じ内容をお知らせください。
当日受付も行いますが、できるだけ事前申し込みをお願いいたします。

お名前	下にチェックして下さい		
ご所属	種別	一般 <input type="checkbox"/>	学生・院生 <input type="checkbox"/>
T E L	シンポジウム	参加 <input type="checkbox"/>	不参加 <input type="checkbox"/>
メールアドレス	懇親会	参加 <input type="checkbox"/>	不参加 <input type="checkbox"/>